

注意事項

※募集する奨学生は、下記出願条件と、人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。

※各奨学会の希望者の中から、家計収入や成績により内部選考を行い推薦者を決定します。

※下記の奨学会を希望する者は「公益法人奨学会願書（内部選考用）」（所得関係証明書と成績証明書を添付）と「希望奨学会申込票」を締切日までに本部奨学厚生課奨学チームに提出してください。

※出願に必要な書類は充分にご確認のうえ提出してください。

※併給不可の団体について、併願して採用された場合には、どちらか一方は辞退または採用取消することとなります。

※内部選考通過者に、奨学会の願書等をお渡しし書類を準備していただきます。その際、指導教員等の推薦書や健康診断書の提出をお願いすることがあります。

内部選考を行う公益法人奨学会募集について(第4回)

申込締切日:4月10日(火)

願書配布及び申込受付:本部奨学厚生課奨学チーム

※学年はH30.4.1現在

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	奨学金月額	推薦人数
尚志社	<p>〈課程〉学部 〈学部〉文学部、法学部、経済学部、教育学部 〈学年〉学部3年生 〈その他〉 (1)学業成績が特に優秀な者 ※本奨学会の選考は成績を重視します。 (2)学部3年生25歳未満 (3)内部選考に通過した場合、6月16日(土)行われる財団による選考会に必ず出席できること。 (4)当該財団が定期的実施する社友懇談会(年1回)に必ず出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者 (5)家計基準が日本学生支援機構学部生向け第一種の家計基準<収入・所得の上限額の目安>を上回らないこと。本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。</p> <p>〈給付期間〉正規の最短年限まで</p>	<p>不可 (日本学生支援機構は可)</p>	<p>給与 ○30,000円(自宅)/40,000円(自宅外) ○学校納付金(授業料)の実費を限度に支給する</p>	1

<p>尚志社</p>	<p>〈課程〉修士 〈学部〉医学系、薬学系、農学生命科学研究科 〈学年〉1年 〈その他〉 (1)学業成績が特に優秀な者 ※本奨学会の選考は成績を重視します。 (2)修士1年生30歳未満 (3)内部選考に通過した場合、6月16日(土)行われる財団による選考会に必ず出席できること。 (4)当該財団が定期的実施する社友懇談会(年1回)に必ず出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者 (5)家計基準が日本学生支援機構学部生向け第一種の家計基準〈収入・所得の上限額の目安〉を上回らないこと。本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。</p> <p>〈給付期間〉正規の最短年限まで</p>	<p>不可 (日本学生支援機構は可)</p>	<p>給与</p>	<p>○40,000円(自宅)/ 50,000円(自宅外) ○学校納付金(授業料)の実費を限度に支給する</p>	<p>1</p>
<p>井植記念会</p>	<p>〈課程〉博士 〈研究科〉理学系、工学系、情報理工学系、新領域(理工学系)、農学生命科学、医学系研究科 〈その他〉 ・兵庫県出身者 ・学業成績が優秀、かつ心身ともに健全で、将来において学術水準の向上、社会の進歩発展に著しく貢献し得る可能性が認められる者。</p> <p>※採用された場合には、平成30年8月22日(水)に行われる奨学会本部(神戸市)での授与式に出席していただきます。 ※本奨学会の選考は、経済的困窮度よりも成績を重視します。</p> <p>〈給付期間〉正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>給与</p>	<p>50,000円</p>	<p>1</p>

<p>吉田育英会 〈マスター21〉 【予約採用】</p>	<p>〈課程〉修士(予約) 〈学年〉2018年秋季または2019年春季に修士課程(標準修業年限2年)入学を希望する者。 進学先大学院は東京大学でなくても構わない。 〈研究科〉総合文化、理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、数理科学、新領域創成科学、情報理工学系、学際情報学府 〈分野〉自然科学系分野(上記研究科でも当該分野以外は応募対象とならない) 〈その他〉 (1)2018年4月1日現在東京大学学部4年次に在学しており、27歳未満で、上記研究科へ進学予定の者。 (2)日本国籍を有する者 (3)学業成績が優秀な者 ○本奨学会の選考は成績を重視します。 (4)大学院進学のための意識を明確に持つ者 (5)成果の社会還元への志を有し、影響力を期待できる者 (6)リーダーとしての資質を有する者 ※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 ①第一次審査:書類選考 ②第二次審査:面接選考 2018年7月12,13日 実施予定 ※採用者が学校納付金を選択した場合、修士課程での入学料・授業料免除制度は受けられません。 〈給付期間〉修士課程での2年間</p>	<p>給与:不可 貸与:可 学費を支給する奨学金との重複も不可</p>	<p>給与</p>	<p>月額8万円 または 修士課程での学校納付金(入学料・授業料)の実費(250万円を限度とする)</p>	<p>1</p>
<p>ナカベ 中部奨学会</p>	<p>〈課程〉学部、修士、博士 〈学年〉指定なし 〈学部・研究科〉指定なし 〈その他〉人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者 〈貸与/給付〉期間)正規の最短修業年限まで ※貸与の場合は、貸与終了後15年以内に完済の条件がございます。 ※採用率は非常に低いです。詳細は奨学チームまでご確認ください。</p>	<p>可</p>	<p>学部・ 修士: 貸与 博士: 給与</p>	<p>学部35,000円 修士60,000円 博士60,000円</p>	<p>貸与1 給与1</p>